

# JAL東北応援プロジェクト 「笑顔の贈り物プロジェクト」を 今年度も実施しました

私たちが大切に考える4つの分野 ▶ 〈日本と世界を結ぶ〉 〈安全・安心〉 〈次世代育成〉 〈環境〉

震災を経験されたご家族を  
沖縄旅行へご招待

JAL東北応援プロジェクト「行こう！東北へ」は、2013年6月より「地元の復興」と「被災された方の心の応援」の二つの側面から、さまざまな取り組みを行っています。今回ご紹介するのは、後者の取り組みの一つである、「JAL笑顔の贈り物プロジェクト」です。

2013年7月よりスタートし、今年で5回目の実施となる本プロジェクト。震災で親御さんを亡くされたお子さまと、その保護者の方を沖縄旅行にご招待し、旅という非日常の環境のなかでリフレッシュしていただき、笑顔溢れるひとときを楽しんでいただくプログラムです。

このプログラムは、社員の募金と会社からの同額マッチング（加算）で運営されます。また旅に同行するボランティアは、東北への熱い想いをもったJALグループ社員からの公募で毎回決定しています。

今年度は、7月27日から30日の日程で実施し、宮城県より10家族計20名さまが参加されました。幸い天気は

恵まれ、まぶしい太陽の日差しのおかげ4日間の行程を終えることができました。

スタッフ一同、「とにかく楽しむ！」をテーマに、出発当日までそれぞれ準備を進めました。いよいよ当日を迎え、同行スタッフとご家族が対面！飛行機に乗ったことが初めてのご家族など、皆さま緊張された様子での旅の始まりとなりました。しかし、到着が近づき、窓の向こうに青く煌めく美しい海が見えてくると、皆さま一様に目をキラキラと輝かせて笑顔に変わり、スタッフもひと安心しました。



空港の格納庫にて、日本トランスオーシャン航空（JTA）スタッフとバルーンと共に集合写真。みんな最高の笑顔です。

## 沢山の笑顔が溢れ出した 4日間の沖縄旅行

滞在中は、「沖縄美ら海水族館」での見学やビーチでのマリンスポーツや花火などの夏らしいイベントに加えて、航空教室や折り紙ビコーキ教室など、JALならではのプログラムも存分にお楽しみいただきました。スタッフは、ビーチでのアクティビティーに際し、子どもたちに海へ

の恐怖心があるのでは、と心配があらりましたが、思いきり海で楽しそうに遊んでいる様子から、ほっとする一面、これからも少しずつ心を和らげていってほしい、と強く願うばかりでした。

後日ご家族の方からは、「沖縄で覚えた『ゆいまーる』という言葉と、この旅の思い出をずっと忘れませんでした。『ゆいまーる』とは、「結びつき」を表す沖縄の言葉で「結びつき」や「助け合い」を意味しています。旅を終えたスタッフは「この旅

で出会うことができたご家族、そして沖縄の皆さまとの結びつきを、ずっと大切にしていきたい」と心から感じました。

このプロジェクトは、被災地の皆さまに寄り添い、笑顔になっただけのことを目的に行っていますが、一方で、スタッフ自身も、参加者の皆さまや沖縄の皆さまの笑顔からパワーや元気をいただいています。

この旅で生まれた笑顔が東北の皆さまの活力となり、また未来へ繋がっていくことを願って、これからも活動を継続してまいります。

01.すぐ下にはお魚がたくさん！02.03. JTAスタッフが航空教室を盛り上げました。04.スイカ割りに大興奮。皆で美味しく食べました。05.夜には花火大会。



2015年9月、全国連加盟国（193カ国）により「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会課題の解決に取り組んでいきます。

今回のテーマに当てはまる目標

4 質の高い教育をみんなに

■私たちが取り組むCSR活動に関する詳細は、こちらでもご覧いただけます。  
[www.jal.com/ja/csr/](http://www.jal.com/ja/csr/)